

協会も、5月14日付の「スポーツイベントの再開に向けた感染予防ガイドライン」において、「開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期するよう、都道府県知事からの要請等に基づき、慎重な対応をとることが必要です」と指摘しています。

このように、我が国全体で感染防止に努めており、剣道界も共に努力、協力していかなければならない状況下、全剣連は、新型コロナウイルス感染症の見通しが不透明なこの数か月で、すべての都道府県で予選大会を実施するようなスケジュールによる、全日本剣道女子選手権大会並びに全日本剣道選手権大会の実施を断念することとしました。

ただし、新型コロナウイルス感染症にかかる問題がある程度落ち着くと見込まれる明年1月から3月での開催を検討することとします（予選大会は11月から明年1月を想定）。延期して開催するか否かは、新型コロナウイルス感染状況や感染防止策の整備状況、その他会場確保等を勘案して、10月末を目途に判断する予定ですのでご了承ください。

以上